



Toho 東邦キャンパス Campus

vol.132
2020年(令和2年)1月発行

発行 学校法人 東邦学園 〒465-8515名古屋市中東区平和が丘三丁目11番地 TEL 052 (782) 1241 FAX 052 (781) 0931

HP [東邦学園](#) [愛知東邦大学](#) [東邦高等学校](#) [検索](#)



「第1回グランパス・ビジネスコンテストin愛知東邦大学」を開催
勝ち残った6チームによる決勝大会は和丘祭開催中のLCホールで開催されました。(記事16ページ)



石川昂弥選手が東邦高校初のドラフト1位で中日へ
春の甲子園で平成最初に続き最後も優勝の硬式野球部は中部運動記者クラブスポーツ賞にも輝きました。

目次

特集

特集1 中日入団の石川君に
藤本校長がインタビュー

特集2 愛知東邦大学 近づく20周年

年頭所感



人々の「架け橋」 になろう

学園理事長 愛知東邦大学学長
榊 直樹

世界最難関と言われる英国の大学・オックスフォードとケンブリッジ(略してオックスブリッジ)の入試で課される口頭試問をご存知ですか?「世界一『考えさせられる』入試問題」(ジョン・ファーンドン著)によると、「あなたは自分を利口だと思いますか?」(法学)、「自分の腎臓を売ってもいいでしょうか?」(医学)、「カタツムリには意識はあるのでしょうか?」(実験心理学)、「幸せだ、とはどういうことですか?」(哲学、現代言語学)……。一定の知識だけでなく、モノの見方や論理展開など様々な角度から試されるそうです。

難問奇問のような設問を紹介したのは、来春の大学入学共通テストから実施予定だった記述式問題の導入が見送られ、ホッとしている受験生に喝を入れたいからです。確かに50万人超の答案を短時間で公平に採点するのは困難で見送られました。しかし、既に時代は

「正解にいち早く辿り着く」能力だけを磨いていても通用しません。その意味では、既に在学中の大学生にとっても同じです。早さならAI、正確さならロボットに勝てません。

唯一の正解がなくても、地球規模では環境とエネルギー・食糧との関係、戦火と貧困を逃れて豊かな国に押し寄せる大量の難民問題は対処を求められています。私たちの身近でも一刀両断にできない課題は山ほどあります。

そうした時代に向けて、学園では「架け橋になれる力」が育っていると思います。東邦高校は、活発な課外活動を通じて他人と協働してワンチームになれる人間力を培い、国際理解教育では新たに国際探究コースを設けます。愛知東邦大学はプロジェクト型授業を多用して考える力の向上に努め、ラーニングハウスは外国人留学生と同室暮らしです。

今年は東京オリンピック・パラリンピックが56年ぶりに開かれ、世界中の人々が集います。一方で、年明け早々米国とイランは血なまぐさい応酬を繰り返しています。昨年、道半ばで銃弾に倒れた中村哲さんのように、対立と分断を乗り越えて「架け橋」になる——今こそ求められる人間像です。



2020年 新たな年を迎えて

東邦高等学校校長
藤本 紀子

東邦学園関係者の皆様、東邦高校関係者の皆様、明けましておめでとうございます。日頃は東邦高校の教育にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。とりわけ昨年4月の硬式野球部春の選抜優勝の折には、多大なるご声援・ご支援を賜り、感謝の念に堪えません。年も改まり、硬式野球部は令和の甲子園出場を目指して、また他の部活動も「硬式野球部に続け」とばかりに、自分たちの目標に向けて努力を続けております。引き続きご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、東邦高校にとって2020年は大切な年になります。新入学生から、新たなコースである「国際探究コース」がスタートするからです。

2030年をゴールに定め、国連がSDGs(Sustainable Development Goals)という世界の目標を策定しました。貧困・気候変動・人権・平和などの17の分野の大目標と、169の具体的目標に今、世界中の国・企業・人々が、「持続可能なよりよい世界」を目指して取り組んでいます。もちろん日本も例外ではありません。

「国際探究コース」の目標は、急速にグローバル化が進む社会において、世界を持続可能に、より良くするために「自分にできること」を主体的に考える人材の育成です。そしてこれは「国際探究コース」のみならず、今後の東邦高校の教育が目指すひとつの方向性になり得ると私は考えています。

今年は東京オリンピック開催年、日本にとって明るい話題の多い1年になりそうですが、私は東邦高校にとっても希望に満ちた、明るい1年になるだろうと確信しております。

本年も生徒一人ひとりが充実した学校生活を送り、笑顔の絶えない学校づくりを目指して教職員一同、教育活動に専心いたします。どうか本年も引き続きご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

特集1 インタビュー

挑戦します 「有言実行」で新人王に 中日入団の石川君に藤本校長がインタビュー



「目標や夢は口にした方がいい」と語った石川君

昨年春の甲子園で平成最後の優勝に輝いた東邦高校。主将、エースとしてチームを牽引した3年生の石川昂弥君は2020年春、ドラフト1位指名で入団する中日ドラゴンズで新たな挑戦をスタートさせます。藤本紀子校長が、夢に向かって大きく羽ばたこうとする石川君に東邦高校での思い出と決意を語ってもらいました。

指名が3球団になりドキドキでした

藤本 ドラゴンズへ入団する夢がかないました。おめでとうございます。いまどんな気持ちですか。

石川 入団についてのいろんな具体的な話を聞いて、やっと実感がわいてきた感じです。いよいよ本当にプロの世界に入ってやるんだなという気持ちが強くなりました。

藤本 3球団から1位の指名がありました。あの時はどんな気持ちでした。

石川 正直、中日とソフトバンクが指名してくることは分かっていました。その段階でも2球団からの1位指名は考えていなかったのですが、とてもうれしかったです。まさか、もう1球団からの指名があるとは思いませんでした。ただ、それが自分に対する評価なので、評価していただいたということですのですごい自信になりました。3球団の中では、やはり、地元の中日ドラゴンズの与田監督に引いてもらいたいと思いました。

藤本 石川君ってわりと表情を変えませんか。だけど内心はドキドキしていたんだ。

石川 めちゃくちゃドキドキしていました。汗が出て

やばかったです。試合ではあまり緊張することはないんですけど、ああいう時の方がドキドキします。

藤本 中日の沖縄のキャンプを訪れた様子をテレビのニュース(11月16日)を見ましたが、ブルペンでの様子を食い入るように見ていましたね。すぐにでも打ちたくなったのでは。

石川 すごかったです。すぐ打ちたいどころか、すごい球を投げていたんで、プロではこの球を打たなければいけないのか、これがプロの世界かと思いました。プロで活躍している選手たちってすごいんだと改めて思いました。

藤本 そもそも石川君が野球を始めたのはいつからですか。

石川 チームに入ったのは小学校2年生ですけど、お父さんとは3歳ごろから遊びながらやっていました。学校を卒業するまでは同じチームで、中学校からは硬式のクラブチームに入りました。

藤本 お父さんも東邦高校で野球をやられていましたよね。お父さんと遊びながら楽しく野球をやっているうちに、頭の中はもう野球でいっぱいになった感じですか。

石川 そうです。

藤本 ピッチャーはいつからやっていたのですか。

石川 小学校の時にやっていて、中学校でもやっていたんですが、あまりうまくいかなかったです。そのうち投げる機会も減って、高校ではまったく投げることはなくなりました。2年生で新チームが始まってから、投げ始めたという感じです。



藤本 二刀流ではなくて基本はバッターだったんですね。高校でピッチャーをやれと言われたときはどう思ったのですか。

石川 監督に言われたらやるしかありません。でも、本当のことを言うと、打者に集中したかった。

藤本 そうですか。不安はあるし大変ですよ。でも堂々の優勝投手になりました。

石川 はい。やれと言われたら、もう抑えるために全力でやっていました。

主将になって自分が変わりました

藤本 そういう気持ちが優勝につながったんでしょうね。石川君は主将でしたが、主将になって自分の気持ちで変わるものですか。

石川 変わりますねえ。僕はどちらかと言えば、自分だけに集中してやるタイプ。周りがどうであれ、自分はしっかりやるし、周りが打っていて、自分が打てなかったら、自分だけ落ち込んでしまう。自分のことだけを考えるタイプでした。キャプテンとなると、チーム全員に声をかけてチームのモチベーションが上がるようにやっていかなければいけない。自分もしっかりやらなければいけないのは当然ですが、自分より周りのことをという風な意識は強くなりました。

藤本 人のことを考えるということができるようになったというのはすごい成長ですね。

石川 そうですね。やってよかったと思います。

藤本 甲子園で優勝して世界は変わりましたか。

石川 優勝した時は確かにすごかったですけど、すーと普段にもどったという感じです。今は普通です。

藤本 野球部の活動で一番苦しかったことってなんでした。

石川 新チームが始まってからです。僕らの上の代のチームって、個々の能力が高くて、基本的なことは当たり前前にできていたチームでした。新チームは、Aチームだったメンバーと、上のチームでの試合経験がない部員がいきなり一緒になってやるわけです。当たり前のことが当たり前でできなくて、まとまりがないチームでのスタートでした。しかも自分はそのキャプテン。秋の県大会途中のころまでは大変でした。それでも2年生の時から一緒に甲子園に出ていた熊田(熊田任洋内野手)と2人でまとめました。

藤本 熊田君とはいいコンビでしたね。監督を胴上げしよう、平成最後も優勝しようと思い始めたのはいつ

ごろかですか。

石川 新チームが始まった時から思っていました。でも、正直いうととても、そこをめざせるようなチームではなかった。思っても口にすることはなかったです。ただ、練習試合や公式戦をしていくごとにチームがまとまっていった、強くなっていった感じです。試合を重ねるたびに手応えを感じていました。

藤本 家では普段、お父さんやお母さんとどんな話をしているのですか。

石川 土曜、日曜日とかは試合の話とかが多くなります。テレビでお父さんと一緒によく野球をみたりしますよ。この選手はすごいねとか。

藤本 そういう話も、今では、これまで雲の上の人たちを見ていたころとは違ってきたのでは。

石川 そうなんです。ちょっと見方が違ってきました。

藤本 自分があるそこに立つのかっていう気持ちで見えるようになったわけですね。本当にすごいことで、素晴らしいと思います。

石川 ありがとうございます。

藤本 そもそも東邦高校を選んだのはどうしてですか。

石川 お父さん、お母さんが東邦高校だったんで、もう東邦へいくのが決まっている感じでした。中学時代はずっと東邦に行くって言っていました。チームの監督のところにも、きっといろんな所から声はかかっていたと思うんですが、僕にはあまり言われませんでした。

藤本 「もう昂弥は決まっていますから」と言うてくださったんですね。でも、東邦に入って本当によかったですね。東邦高校ってどんな高校ですかと聞かれたらどう答えますか。

クラスは男子ばかりでしたが廊下に出れば女の子がいてホッとしました

石川 「私立なのにきっちりしてる」と。

藤本 どういうことですか。

石川 校則が結構厳しいじゃないですか。僕はそれでいいと思うんですけど、私立って全般には緩いと思うんです。女の子のスカートの長さもそうだし。東邦はきっちりしている感じです。先生たちもきっちり言う。

藤本 東邦の校訓は「真面目」ですからね。全体が真面目なんです。

石川 そうですね。

藤本 石川君たちがいた人間健康コースのクラスは3年間持ち上がりだったけどどんなクラスでした。

石川 1年生の時は横着かったです。あとのことは考えずに行動していたというか。でも、学年が上がるにつれて、しっかり考えて行動するようになったと思います。野球とサッカーだけの男子だけのクラスですが、女子がいたらあんな風じゃあないと思います。



藤本 いろいろ遠慮すると思うわけですね。

石川 そうです。もっと静かなクラスになっていたと思います。男子校みたいでワイワイやっていました。最初は、女子がいないのかって思っていたんです。でも、そのうちに、なくていいかなと思うようになりました。廊下に出ればいるんで。全然いなかったらつらいですけど。(笑)

藤本 ファンレターとかは来るんですか。

石川 監督に届くんじゃないですかね。監督が部長に渡して、部長から言われてサインを書いたりするときもあります。何回か書きました。手紙はその場で読んで返しました。

藤本 プロ野球に入ったら一段と増えるのでは。

石川 先生たちは「バレンタインデーがえらいことになるんでは」と話していました。2月14日のチョコレートとかが学校に届くみたいだとか。でも2月は沖縄でのキャンプが始まっていて僕はもういません。

藤本 先生たちも大変ですね。

石川 でもそんなにはないと思います。

藤本 そうですか。では私も気にしておきます。

絶対に大物感はある。自信を持って頑張る

藤本 キャンプはいつから始まるのですか。

石川 新人の合同自主トレが1月中旬からからだと思います。沖縄でのキャンプは2月に入ってからです。

藤本 修学旅行でも沖縄に行きましたが、それとは違う沖縄ですね。きっと死に物狂いのキャンプでしょうね。覚悟はどうですか。

石川 精神的にも疲れると思います。11月に沖縄キャンプを見てきて、参加している中心選手はすごかったです。ここでやらなくちゃいけないのだと思いました。

藤本 人生一回切りだから思い切りやることでしょね。石川君を見ていると、受け答えも含めて、持っているオーラというか、絶対に大物感があります。自信を持って頑張ってくださいね。

石川 そう言っていただけるとうれしいので頑張ります。

藤本 安定感はあるし物事に動じない感じがします。そういうのがプロの選手には必要なんでしょうね。石川君らしさを忘れないで頑張ってください。新人王を取って、その先の目標は。

石川 三冠王です。取ったらすごいですけどね。

藤本 でも甲子園でも優勝しますと言ったら優勝したし、言ったことが現実になってきているでしょう。

石川 今まではそうですが、そんなにうまくいきますかねえ。でも、僕はやはり目標は大きく持つことは大事だと思っています。達成できないは別として、そこを目指してやることに意味があると思うんで。

藤本 学校をあげて応援しています。東邦高校の後輩たちに一言、残



してくれるとしたらどんな言葉ですか。

石川 目標や夢は口にしたい方がいいと思います。絶対無理だと思っても、口にして目指すべきだと思います。僕は新人王を狙います。

藤本 有言実行ね。

石川 はい。そうやってきました。優勝しますとか言って。何が根拠かわからなかったですけど。(笑)

藤本 壮行会の時は森田監督からも、キャプテン石川君からも、「優勝します」という言葉が出ました。優勝ってそんな簡単ではないですが、夢を口にして叶えるというのは大事だと思います。

石川 よく聞くのは、今、一軍でトップの成績を残している選手は、誰よりも練習しているということです。毎日、試合が終わった後とかも練習しているらしいです。レギュラーを取るまでは、無心にひたすら野球だけを意識してやっていきたいです。

藤本 プロ野球選手って子供たちの夢を背負うわけですからね。東邦の先輩もいるから心強いね。

石川 それは本当にそうです。11月にキャンプに行った時も藤嶋健人先輩に「行きます」と連絡したんですが、「スタッフさんとか、選手、先輩に会うと思うから、あいさつはしっかりしておけよ」と言ってくれました。

藤本 3年間学んだ母校や東邦学園から間もなく旅立ちの春ですね。

石川 自分を成長させてくれた東邦高校、愛知東邦大学も含めた東邦学園関係者の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。1年、2年の時は、総合学習で週に2時間、大学に行って、大学の授業を受けさせていただきました。顔を知っている先生もたくさんいます。本当にありがとうございました。

石川 昂弥君

半田市出身。2017年に亀崎中学校から東邦高校に入学。1年生からベンチ入りし、2年生春のセンバツでは三塁手・4番打者して出場するも初戦で花巻東高校に敗退。平成最後の大会となった3年生センバツでは東邦高校を平成最初以来の5回目の優勝に導きました。高校通算55本塁打のパワーにはプロも注目。10月のドラフトでは中日、オリックス、ソフトバンクが1位指名し、中日が交渉権を獲得し入団が決まりました。

藤本 紀子校長

名古屋出身。明和高校、愛知県立大学文学部国文学科(現在は日本文学科)卒。1986年から東邦高教員に奉職。9年間の教頭を経て2019年4月から東邦高校初の女性校長。東邦学園理事。



特集2

愛知東邦大学 近づく20周年 「地域発展を担う人材育成」掲げ2001年開

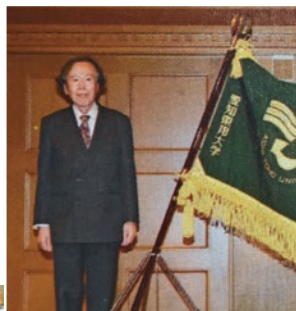


東邦学園短大と合同で行われた第1回入学式

東日本大震災被災地にバスで向かう学生たち



90周年記念で作成された校旗。
左は石田氏、右は成田学長



開学10周年に初の全国大会
出場で優勝した軟式野球部



インカレ初出場を果たした
女子サッカー部



日進グラウンド

愛知東邦大学の開校は2001年4月で、2020年で20年目を迎えます。開校時の校名は「東邦学園大学」で、2007年4月から愛知東邦大学と改称しました。東邦学園短期大学の歴史を引き継いだ4年制大学としての19年間の歩みを、学園広報誌『東邦キャンパス』に掲載された記事をベースに紹介します。

第1回入学式で丸山学長が式辞 「ともに新しい大学をつくろう」 2001年

東邦学園大学の第1回入学式は2001年4月6日、学生ホール（S棟体育館）で行われました。入学者は定員（200人）を大きく上回る300人でしたが、入学後3人が辞退したため297人に。男子260人、女子37人と男子学生が87.5%を占めました。

出身地別では愛知県が251人（84.5%）で、7割近い172人が名古屋市出身。丸山恵也学長は式辞で、「大学の設立理念は、真面目な人格者の育成。地域を担う人材育成のうえで、日本で最も特徴のあるオンリーワンの大学を目指します。皆さんは大学の1期生です。この地で学び、大志を抱いて日本の社会のリーダーを目指してください」と述べました。（2001年6月特集号）

クラブが続々と旗揚げ

開学と同時に新たなクラブが生まれました。2001年6月現在で新入生加入率25%。運動系では13クラブが誕生しました。

入学式直後に創部し、大学連盟に加入した空手道部は部員2人ながら、東海地区大学選手権に参加。個人

戦（60kg級）で新入生の酒井博崇さんが見事優勝、対外試合優勝第1号となりました。

【運動系クラブ】（カッコ内は顧問）

野球部（袴田克彦）▽空手道部（小林信之、監督・山内善之）▽バドミントン部（二宮加代子）▽スキー部（西村弘之）▽フットサル部（=サッカー：小野隆生、増田貴治）▽男子バスケット部（増田貴治、三浦寿美）▽女子バスケット部（谷川智代）▽ゴルフ部（袴田克彦）▽ボウリング部（山本正彦）▽サイクルスポーツクラブ（新村健）▽アウトドア同好会（阪口将史）▽ビリアード同好会（深谷和広）▽スポーツ応援観戦同好会（柴田千登勢）

【文化系クラブ】（カッコ内は顧問）

軽音部（成田良一・小林信之）▽簿記部（山本正彦）▽茶道部（所智子）▽クラシック音楽同好会（中山孝男）▽釣り同好会（小林信之）▽乗り物研究部（津田正夫）▽漫画同好会（井上秀次郎）▽サークル計（後千代）▽旅とカメラを楽しむ会（平尾秀夫）（2001年7月81号）

硬式野球部が創部2年目で4部リーグ優勝し 3部昇格 2002年

硬式野球部は創部2年目の2002年秋は愛知大学野球リーグ4部でした。4部には東邦学園大、大同大、名古屋市大、愛文大、名工大、名産大、淑徳大の計7大学が所属。秋季リーグ全日程終了の結果、東邦と名工大は勝点5で並び優勝決定戦（プレーオフ）を実施、東邦が12-7で名工大を破り、念願のリーグ優勝を果たしました。入れ替え戦も東邦は名外大（3部6位）に2勝1敗と勝ち越し、見事に3部リーグ昇格を決めました。



就職合宿で模擬面接に臨む
学生たち(2010年)



完成したL棟



愛知東邦大学の歩み

2001年 3月	A棟竣工
4月	東邦学園大学を開学。経営学部地域ビジネス学科を設置
2002年10月	丸山恵也短大長が大学学長を兼務 地域ビジネス研究所(現在の地域創造研究所)を開設
2007年 3月	C棟竣工
4月	日進グラウンド(野球、サッカー場)完成 大学名を愛知東邦大学に改称 人間学部(人間健康学科、子ども発達学科)を新設し2学部体制に 山極完治学長就任
2008年 3月	東邦学園短期大学が閉学し43年の歴史に幕
2009年10月	就職合宿始まる
2011年 4月	成田良一学長就任
8月	軟式野球部が第34回全日本学生軟式野球選手権大会で優勝
10月	学生ら23人が東日本大震災被災地の宮城県石巻市でボランティア
2012年12月	女子サッカー部がインカレ初出場
2013年 4月	校旗と校歌が誕生
2014年 4月	教育学部子ども発達学科を開設。3学部体制に
12月	L棟竣工
2015年 4月	神直樹学長就任
2016年 4月	経営学部に国際ビジネス学科開設。人間学部子ども発達学科廃止 学生寮ラーニングハウスがオープン
2017年 3月	人間学部子ども発達学科を廃止
4月	人間学部を人間健康学科に名称変更
2018年 4月	ブランディング発信活動スタート

当時の杉谷正次野球部長は「創部2年目でのリーグ優勝、リーグ昇格は、昭和24年発足の愛知大学野球連盟史上においても快挙である。1、2年生の若いチームがこのような成績を残せたのは、おそらく名城大、名大といった旧1部強豪校との試合の中で、彼らが勉強し、また厳しい練習に耐えて努力したからであろう」と部員たちの健闘をたたえています。(2003年1月86号)

就職合宿始まる 2009年

超氷河期の就職戦線に挑む学生たちを支援しようと、「就職合宿」が始まったのは2009年10月から。3年生を対象に面接、プレゼンテーション、着こなし、マナーに至るまで1泊2日での研修合宿です。2010年秋に三ヶ根山で4回にわたって開かれた合宿は、経営学部82人、人間学部89人が参加。黒っぽいスーツに身を包んだ学生たちにとっては、一気にモチベーションが高まる合宿となりました。

こうした取り組みを後押しするように、愛知東邦大学は文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業」の対象校に採択されました。(2011年1月111号)

東日本大震災被災地でボランティア活動 和丘祭テーマも「絆」 2011年

2011年3月11日に発生した東日本大震災。愛知東邦大学でも10月21日から26日まで、学生21人と教職員2人の23人は宮城県石巻市牡鹿半島で漁村支援のボランティア活動に従事しました。

参加した経営学部2年生の小林将吾さんは、114号に、「傍観者ではいたくなかった」と寄稿しています。「募金なども一つの手ですが、自分の中では直接手伝いたい!という気持ちが強かった。一人では行けずにいるとき、大学でボランティアに行けることになったので即決意しました。牡鹿半島の被災した漁村では、1日目は農業支援、2日目は漁業支援でワカメの養殖を手伝いました。畑の修復にしても10人が1日がかかりでも終わらないのに、一人だったらと思うと、やめなくなる被災者の気持ちが分りました」

11月19、20日に開催された「和丘祭」も「絆」をテーマに掲げました。(2012年1月114号)

軟式野球部が全国大会で初優勝 2011年

軟式野球部が8月に開かれた第34回全日本学生軟式野球選手権大会で初優勝しました。大会は下関球場(山口県)で開かれ、各地区リーグ戦を勝ち抜いた12チームが参加して開けられました中部学生野球連盟の1部に昇格したばかりの軟式野球部は、春のリーグ戦でも快進撃し、初出場を果たしました。「全国出場だけでも開学10周年の本学にとって快挙ですが、全国大会では名高い大学も含む激戦を3試合とも完封し制覇したのです」(2011年9月113号)

女子サッカー部が創部6年でインカレ初出場 2012年

女子サッカー部の創部は2007年6月。初代監督を務めた人間学部教員の長谷川望氏は105号に、「最初は

ボールを蹴ることも止めることもままならなかった学生たちが、フットサルの大会に参加し初得点、初勝利を挙げるなど、仲間たちと挑戦するなかで成長した1年だった」と書いています。

目標としていたインカレ初出場を果たしたのは2012年。116号で部員の平松宏美さん(人間学部人間健康学科4年)は、「創部当時は部員7人で、まともにサッカーの試合はできませんでした。それでもインカレに出場したいと、大きな目標に向かって、日々成長してきました。今では部員数も26人なり、思い切りサッカーをできる環境に感謝の気持ちでいっぱいです」と喜びを書き残しています。

初出場のインカレに1年生として出場した仲里紗弥さん(2015年度主将)は「なでしこがドイツでのW杯初優勝した翌年ということもあり、2012年は女子サッカー人気が急激に高まった年。入学した年にインカレにも出場できたのは幸運でした」と話しています。(2013年1月116号)

学園90周年で大学校旗と校歌を作成 2013年

東邦学園は2013年に創立90周年を迎えましたが、大学は90周年を記念して校旗と校歌を作成しました。校旗は東邦短大名誉教授の石田隆氏がデザインしたロゴマーク(校章)を中心に置き、深緑色を背景としたものです。校歌は、歌詞に使うキーワードを学生・教職員から募集し、それをもとに森泉博行氏が作詞、真島俊

夫氏が曲を付けました。作成作業では校歌ワーキンググループが検討と調整にあたりました。(2014年1月118号)

ラーニングコモンズ棟完成 2014年

図書館と情報、学修支援の複合施設として学生たちが共に学ぶラーニングコモンズ棟(L棟)が完成しました。12月6日にはLCホールで完成記念イベントがあり、講演に続いて、吹奏楽団が演奏。参加者たちは御岳山も見渡せる眺望の中で演奏を楽しみました。(2015年1月121号)

ラーニングハウスがオープン 2016年

学生寮「TOHO Learning House」(ラーニングハウス)が4月から名古屋市名東区社台にオープンしました。地下1階、地上5階建て入寮定員は41人(6人部屋6室、1人部屋5室)。月額寮費は6人部屋が1万9000円、1人部屋が4万円。7人の入寮生でスタートとなりましたが、寮生たちはゲストハウスの自主運営に挑戦。ラーニングハウスの管理運営責任者として寮生たちをサポートする阿比留大吉さんは「右も左も分からなかった寮生たちが、ビジネスモデルを知ることのできる仕組みを理解し、ゲストハウスに訪れたお客様と、地域をつなぐプロジェクトを自ら企画し、実現する力を身につけている様子に大きな成長を感じています」と寄稿しています。(2016年7月124号)



イノベーター 「地域発展を担う革新者」 の育成を目標に設立

初代学長(2001年4月～

2007年3月)

丸山 恵也(名誉教授)

2001年に東邦学園大学(経営学

部地域ビジネス学科)は、「地域発展を担う人材の育成」を目標に開学されました。近年、私たちの地域の経済や産業、生活や文化がグローバル・スタンダードといわれる国際化の大きな流れに飲み込まれたかに見えますが、地域の生命は誠にしなやかで、したたかで、しかもこれまで以上に発展できる新しい芽を育ててきております。

私たちはそれを『地域ビジネス』として受け止め、これを新たな地域の経済、生活、文化の構築に結び付けることが出来る人間を育てることを大学設立の目標としました。地域の人と共に生き、地域の人から信頼される人だけが、その地域の発展を担っていきます。「信頼できる人間づくり」は本学園創設者下出民義翁による建学の精神です。初年度は大学の開設を知らせる期間が極めて短かったにもかかわらず、定員200名に約700人もの受験生があり、にぎやかにスタートすることができました。

学生がグローバルな視点を持ちながら地域(ローカル)で活躍できるため、ミドルセックス大学(英国)をはじめ世界の4大学との国際教育交流の協定を結び、学生の留学を推進しました。また、「地域ビジネス」を専門的に調査、研究し、他研究機関との交流を図る目的で、2002年に「地域ビジネス研究所」(所長平尾秀夫教授)を設立しました。

2007年には人間学部(人間健康学科、子ども発達学科)を新設し、大学は2学部体制となりました。短期大学は閉校となりましたが、これまでに培われてきた教育の原点、とくに教職員と学生とが人間としての繋がりを大切にする伝統が新しい大学にも生かされてまいりました。



固有の魅力は これに尽きる

第2代学長(2007年4月～

2011年3月)

山極 完治(名誉教授)

学長就任は2007年、愛知東邦大学へ改称した節目の年でした。最初の問いは、一言で表現できる本学の固有の価値は何か、に尽きました。

その根底には、規模の大きさこそが大学の魅力だとする一般認識に抗う、「小さな大学にこそ教育的価値がある」とする確信があったからです。小さな大学だから、違う学生一人ひとりに即して対面性の高い教育が可能です。就職にあたって、一人別シートに基づく就職指導や個人対応の就職合宿もまた可能になります。学務を統括する場に就いた私の願いは、この価値を創造することでした。

誰一人同じ人はいません。人体の設計図たるDNAにより究極の個人認証が可能です。個性的な顔、身体つき、違う指向性、志向性、嗜好性、思考性から望むところ、考えるところは自ずと違い、感性もまた大きく異なります。

4学年とも、せいぜい15人程度に収まる必修の演習が教育の基礎単位となります。小さな大学が大きな力を生み出す根源はここに 있습니다。人のつながりほど頼りになるものはありません。

それには、分け隔てなく触れ合い、多様な個を受容できるフラット感覚のある教職員力が欠かせません。肝心なことは、個を磨き上げるために「徹底的に手間をかける」担い手づくりです。

その甲斐あって、生真面目にコツコツものを仕上げる学生にも多く出会いました。他方で、自らを思う存分アピールできる規格サイズにはまらない学生、尖ったところがあって一見孤立しがちなが、内に強さを秘めた学生、自分は自分、突破力ある学生たち。それぞれに大事な資質だと思います。そして、今、愛知東邦大学は、小さな大学の魅力を凝縮した「オンリーワンを、一人に、ひとつ」を掲げ、挑戦を続けています。



教育改革を中心として

第3代学長(2011年4月～
2015年3月)

成田 良一(名誉教授)

この時期は、全国的に大学の教育改革が議論され、色々な変革が推進されていました。本学でも「大学生の就業力育成支援事業」の申請が採択され、2011年度から新しい教育プログラムを開始しました。核となるのは、学生が地域と連携したプロジェクトを実施し、その過程で教室での教育内容を深化するというプログラムです。また、モバイル機器の教育活用も始めました。残念ながら2年間の実施の後で補助金が終了し、予算規模は縮小しましたが、全体として教育上の大きい成果を挙げたと考えます。

2014年度には子ども発達学科を発展させて教育学部を新設しました。新たな3学部体制のもとで各学部の特色ある教育が実施されていきました。

学長在任中に東邦学園90周年を迎えました。節目の年として大学の校旗・校歌を作成しました。また、図書館の新しい形であるラーニング・コモンズを構想し、

L棟の新設に至りました。検討段階では私も現場の議論に加わりました。徐々に具体化されていくのが楽しみで、充実した時間でした。

学生募集と進路についても、東邦STEPなど重要な仕組みが生まれました。ただ本質的には教育が中心となります。魅力的な教育を実施して、入学した学生が育ち、力をつけて世の中に出ていく、そういうサイクルがうまく回るように各事業に取り組むことが大事です。

入学時には目立たなかった学生が、段々と積極的に種々の活動に参加し、著しく成長を遂げて卒業していく。各教職員もそのような学生を知っているでしょう。学生が育つのは本人の努力や考え方の変遷もありますが、大学として教育を重視し、学生を支える機構や姿勢を持ちえたことも大きかったと思います。



大学のブランド化を目指す

第4代学長(2015年4月～現在)

榎 直樹

現在までを中間総括すれば、本学への見方を大きく覆すブランディングが奏功していることです。

どんな学生に志願してもらい、入学後は学生が誇りを抱くには何をなすべきか——。「明るさ」「親しみ」といった長年のイメージを残しつつも、学力偏差値意識にとらわれない主体性を持つ学生を育てようと考えていました。そこに「大学のブランド化」を提案されたのが、企業でブランディングに携わってきた上條憲二経営学部教授でした。さらに美術デザインが専門で学生募集担当の長沼均俊常務理事を両輪として、2016年からスタートしました。多くの教職員の議論を経て、コンセプトフレーズは「オンリーワンを、一人に、ひとつ。」に定め、個々にはクレドを持つこととなりました。

「学生に敬意を持ってほしい」と願ってきた私には、合点のいくフレーズでした。入試広報は自己プロデュース入試、じぶんブランディング等の主体性を育てる提案をし、具体化させました。

並みいる他大学を凌ぐ学生の素晴らしい活躍も始まりました。マイナビの「キャリアインカレ」の自民党出題「地方創生」部門で2年生チームがトップに、日本旅行業協会の「海外卒業旅行企画コンテスト」ではベトナムからの留学生が優秀賞に輝きました。一連の活動は「Japan Branding Awards」のWinners受賞で、外部からの高評価も受けました。入学者は2年連続で400人を超え、その勢いは今も続いています。

学園トピックス

快挙！愛知東邦大学、ブランディングアワード受賞

経営学部教授 上條 憲二

2019年9月25日(水)、東京港区の「アンダース東京」ホテルにおいて、日本国内のブランディング活動を評価する「Japan Branding Awards 2019」の授賞式が行われました。

この賞は、毎年、グローバルブランドのブランド価値評価を発表している世界最大のブランディング会社である「インターブランド」の日本法人(インターブランドジャパン)が主催するもので、過去3年間のブランディングを審査し、優れた活動を行っている企業・団体を表彰するというものです。(審査委員はインターブランドジャパン・並木将仁社長、一橋ビジネススクール・阿久津聡教授、事業構想大学院大学学長・田中里沙氏他、により構成)

ブランディングとは端的に言えば、「自分たちの個性(=らしさ)」を磨き、それに基づいてすべての事業活動を推進することにより、他とは異なる存在として認識していただくことです。そして、その結果、様々なステークホルダーの方に「選ばれる」存在になることを目的としています。

愛知東邦大学は2016年度からブランディング活動を進め、ブランドコンセプト「オンリーワンを、一人に、ひとつ。」を定めまし



た。そしてそれに伴い、昨年度、シンボルマーク、デザイン表現の変更を行うほか、コンセプトを具体的施策として展開する活動(「じぶんブランディング」「自己プロデュース入試」「東邦STEPの充実」)のほか、各教職員によるコンセプト実践活動を推進してきました。



愛知東邦大学は2019年度には出願者が例年の約2倍、学生の活動もビジネスコンテストで好成績を収めるなど、非常に活発になってきています。これらの成果にもブランディング活動が寄与しているものと考えられます。

今回の賞のカテゴリーは、受賞ブランドの中で総合的に特に優れた取り組みである「Best of the Best」、応募ブランドの中で優れた取り組みを行った「Winners」、ブランディングを通じて著しい成長を収め、卓越したオリジナリティのある取り組みを認められた「Rising Stars」の3部門。

全10社・団体が受賞の栄誉に輝きましたが、愛知東邦大学は「Winners」を獲得しました。一般企業ではなく、大学としての受賞は愛知東邦大学が初めてです。

審査委員会からは授賞理由として「少子化が進み、大学経営は今後ますます厳しさを増す。その中で、愛知東邦大学のブランディングの取り組みは、単なるロゴマークの改訂ではなく、大学の実態の変革が伴っている。特に、教員職員の具体的な活動が成果を結んで

TMB(TOHO MARCHING BAND)の軌跡(2019年7月～11月末編)

TMB音楽監督 白谷 峰人

愛知東邦大学吹奏楽団と東邦高校マーチングバンド部による合同編成「TOHO MARCHING BAND」の2019年7月以降の活動をダイジェストでお伝えします。

▽アビンドンと名古屋をつなぐハーモニーが再び！

名古屋市芸術創造センターで、英国オックスフォードから来日した「アビンドンスクール」のオーケストラとビッグバンドの皆さんとコラボコンサート(満員御礼)。ホームステイ受け入れ、交流会では一緒に食事も。(7月4日)

▽新・神宮東中日ハウジングセンター オープニングイベント 名古屋市最大級の総合住宅展示場のオープン記念で会場内パレードと立奏パフォーマンス。(7月6日)

▽うるぎ村ふるさと体感・Uフェス 長野県売木村岩倉ダムキャンプ場での音楽フェスティバルに出演。大学吹奏楽団の単独とTMBのアンサンブルチーム(サッ

クスティーン・オーメン)がパフォーマンスを披露。(7月20日)

▽アスナル金山夏祭り アスナル金山の屋外ステージでアンサンブルチーム(サクスティーン・オーメン)がパフォーマンスを披露。(8月3日)

▽楽器を楽しむ日 日本特殊陶業市民会館フォレストホールで開催イベントに出演。「We are TOHO! 戦闘開始 これが東邦の甲子園スタイルだ」と銘打って野球応援メドレーのステージを展開。吹奏楽作家の「オザワ部長」さんとの共演。単独でマーチングも披露。最後は猪子石中学校ウリボープラスターズと共演。(8月4日)

▽夏の甲子園 愛知県代表・誉高校の応援協力演奏を実施。(8月6日)

▽愛知東邦大吹奏楽団売木村ミニコンサート アンサンブルを披露。売木村のためのオリジナルソングを披露。

▽広小路夏祭りパレード 広小路伏見から栄間を往復で大観衆の中パレード。(8月17、18日)

▽はちやデイサービスセンターでミニコンサート 千種区の同センターで大学吹奏楽団・アンサンブルチームで約40分のコンサート(8月20日)

いることを評価しました」との講評をいただきました。

授賞式には榊直樹理事長、長沼均俊常務理事、上條憲二経営学部教授が出席し、代表して榊理事長が受賞しました。

各カテゴリーの受賞ブランドは下記のとおり。

「Best of the Best」はMAZDA(マツダ株式会社)、TIAT(東京国際空港ターミナル株式会社)

「Winners」は本学のほかに、Airレジ(株式会社リクルートライフスタイル)、カルピス(アサヒ飲料株式会社)、OMRON(オムロン株式会社)、さくらねこ(公益財団法人どうぶつ基金)、SUPER HOTEL(株式会社スーパーホテル)「Rising Stars」はSnow Peak(株式会社スノーピーク)、STARBUCKS(スターバックスジャパン株式会社)

東邦高校1年生保護者たちが 愛知東邦大学見学会に参加

高大連携会議

東邦高校の1年生保護者を対象とした愛知東邦大学見学会が9月21日に開催されました。高大連携イベントとして4回目の開催です。当日は43組の保護者の皆様にご参加をいただきました。ご来場いただいた皆様には感謝申し上げます。

当日は、学食体験後に大学紹介(教育内容、東邦STEP、内部進学支援等)やキャンパスツアーを実施しました。1年生にとって受験はまだまだ先の話ではありますが、進路選択は生徒やご家族にとって大切な人生の岐路となります。文部科学省の外部英語検定試験の活用延期を含め、近年の大学受験は変革期を迎えています。勉強への取り組みはもちろんのこと、進路に対する早期の動き出しや進路に対して考える時間も非常に大切です。

大学・高校を有する学校法人として、学生・生徒の進路実現を支援できるよう、今後も高大連携を図っていきます。参考までに参加者のみなさまに記載いた

いたアンケートの一部をご紹介します。

アンケートへの回答

- ・生徒数に合った設備。きれいな校舎だと思いました。
- ・施設がきれいだった。愛知東邦大学のことは全然わからなかったけど雰囲気がわかって良かったです。
- ・小さい大学だと思っていたので期待していなかったが、設備・カリキュラム等とてもしっかりしていて印象が変わった。
- ・大学の規模ならではの先生・職員の方々、学生との距離の近さがメリットの学校だと感じました。参加して良かったです。ありがとうございました。
- ・見学できて良かったです。早めに入試のことがわかり、良かったと思います。
- ・他大学のオープンキャンパスもいくつか参加しましたが、愛知東邦大学さんの説明が一番わかりやすかったです。



▽中日VS巨人戦 ナゴヤドームで試合前のアトラクションを実施。(8月22日)

▽東邦学園納涼音楽祭
毎年恒例の納涼音楽祭にてパフォーマンスを披露(8月24日)



▽藤が丘中央商店街サマーカーニバル 藤が丘駅、リニモステージで立奏パフォーマンスを披露(8月25日)

▽にじいろカーニバル ネットトヨタプラザ豊田店でパフォーマンス。(8月25日)

▽名古屋警察署交通安全教室 引山小学校体育館でパフォーマンス(8月26日)

▽第15回オール早慶野球戦 ナゴヤドームで慶應義塾大学の応援演奏。(8月28日)

▽名古屋グランパスvsF C東京 パロマ瑞穂競技場で開場前に立奏パフォーマンス。トラック周回パレードも。(8月30日)

▽OPPO JAPAN スマートフォン広告撮影 神戸市でコマーシャル動画撮影(8月31日、9月1日)

▽メニコンカップ 名古屋市港サッカー場でパフォーマンスを披露。(9月8日)

▽サカハロパレード 栄・天津通(歩行者天国)でハロウィン仮装でパレード(10月27日)

▽Bリーグ・シーホース三河vsサンロッカーズ渋谷 ウイングアリーナ刈谷で屋外パレード・パフォーマンス、屋内パフォーマンス。(11月2日)

▽星降る街「星ヶ丘」イルミネーションフェスタ 星が丘テラスでクリスマスコンサートとイルミネーション点灯式でファンファーレを披露。(11月16日)

7月～11月末現在で22日間の稼働・35公演を実施(その他雨天中止のイベント2公演あり)。この他にも大学吹奏楽団・高校マーチングバンド部それぞれ単独で12公演あり、多くのお客様の前でマーチングパフォーマンスを披露させていただきました。

年度内には定期演奏会も含め、まだ何公演かパフォーマンスを披露する場があります。一人でも多くのお客様と時を共有し、心と心が繋がる演奏演技を目指し日々精進してまいります。いつも応援ありがとうございます。これからも頑張ります。

Ⅱ 高校／行事・クラブ活動

2019学園祭

「青春革命～つながる僕らの物語～」ストーリー

生徒会正顧問 古田 知子

秋晴れの9月25日(水)、体育祭が開催されました。団対抗リレー、学年対抗リレーなどの競技種目、台風の日や綱引きなどの団体種目やレク種目では、生徒たちが全力で競技し、大いに力を競い合いました。東邦伝統の1年生全員による花笠踊りや、学年を超えてひとつになった応援合戦は、高校生らしいエネルギーあふれるパフォーマンスでした。また多くの保護者の皆



さんが応援に駆けつけ、大きな声援が送られました。

9月27日(金)・28日(土)に開催された文化祭は、保護者・地域の皆さん、中学生をはじめ3943人という多くの皆さんにご来場いただきました。「青春革命～つながる僕らの物語～」ストーリーをテーマとして掲げ、実行委員会・各クラス・クラブは、夏休みから準備・練習を重ねてきました。クラス企画では、準備の過程で様々な葛藤やぶつかりを経ながらも、まさに「青春革命」のテーマの通りクラス一丸となって創意工夫を凝らした企画が盛りだくさんでした。



迫力ある和太鼓やダンス、演劇などのステージをはじめ、ジェットコースターやトロッコなどの大型モノ作り企画やお客さんが体験しながら楽しめる体験型企画、教室装飾にもこだわった模擬店、パラリンピックを体感できる企画など、多彩な企画満載でした。また、東邦伝統の「東邦きしめん」をはじめ、PTA企画なども大盛況でした。

2日目の体育館で行われた学園祭本部企画「校則に革命を！～制服ミス・ミスターコンテスト&校則クイズ！～」は、幅広い生徒への興味・関心を広げながら、高校生に身近な制服や校則について考えようという企画でした。また、美術科2年生は長野県にある「無言館」(戦没画学生の作品を展示する美術館)で志半ばに亡くなった戦没画学生たちの作品を見学し、それぞれの思いを作品に昇華させ、メディアセンターで展示しました。また、名古屋空襲を体験された辰巳会の方のお話を映像化した作品も上映しました。

模擬店やバザーの売り上げは、台風15号、19号被災者支援、盲導犬協会、京都アニメーションなどへの寄付にあてられます。また、沖縄ひめゆり祈念資料館への平和カンパは、2年生の修学旅行団が募金を届けています。

年間行事 (2019年度)

- 1月 始業式、面接週間、PTA委員会、学年末考査(3年)、実力考査(1・2年)、マラソン大会
- 2月 修学旅行(人間健康コース)、予餞会、卒業式
- 3月 学年末考査、実力考査、終業式

美術科2年生42人がイタリア研修旅行

美術科教諭 水野 見奈子

美術科2年生42人と引率3人(岡本、西脇、水野)は、11月7～12日の4泊6日で、イタリア研修旅行に行っ

てまいりました。搭乗する予定であったルフトハンザドイツ航空のストライキの影響で、初日の出発直前からトラブルに見舞われました。生徒も保護者も動揺を隠せない状況でしたが、私たちは、急きょ、南ルート



を取り、タイのスワンナプーム国際空港を経由してイタリアのローマへと無事入国を果たしました。

イタリアでは、ヴァチカン美術館やウフィツィ美術館、ヴェネツィア・ビエンナーレまで、約2500年間の新旧の美術作品の数々を観てまいりました。4日目のヴェネツィア訪問では、運よく高潮が引き、サン・マルコ広場を見学することができました。その次の日には、高潮の影響でヴェネツィアの8割が浸水し、イタリア政府が非常事態宣言を発令したことをニュースで知りました。この研修旅行が、生徒の記憶に深く残り、将来の展望へと繋がることを期待しています。

沖縄修学旅行を終えて

校務部長 今井 通昭

11月6日から8日にかけて、総勢14クラス506人の態勢で恒例の沖縄修学旅行へ出かけました。今回は初めて「タクシー研修」を導入、生徒の自主性を重視した活動をこれまで以上に拡大させ、より修学旅行が楽しいものとなるように工夫しています。

また、今回は出発直前になって首里城火災という事態が発生し、その対応に右往左往することとなりましたが、団長・総務の先生方の協力により、速やかに対処することができました。



旅行期間中は概ね天候にも恵まれ、沖縄の自然と独特の文化を味わうことができました。そして、出発前の事前研究で取り組んだ平和学習の成果を、平和祈念堂でのセレモニーで結実させることができました。

旅行会社の方々や引率の先生方はもとより、保護者の皆様方のご支援により、大きな怪我や事故もなく、無事修学旅行を終えられたことに深く感謝いたします。

卒業制作展「未来の芸術家たち展」に1586人が来場

美術科教科主任 小塚 康成



第27回卒業制作展「未来の芸術家たち展」が10月22日から27日まで名古屋・栄の愛知芸術文化センターで開催されました。会期中6日間で1586人の来場者があり、近年では最も多い数を記録しました。

美術科3年生にとっては、学びと研究の集大成であり、特別な思いで卒業制作に臨んできました。展覧会では、そのような一人ひとりが全力を尽くして向き合った作品が会場を埋めることになりました。作品を鑑賞した来場者からは、今でしか描けない純粋なものを感じるという言葉の数多くいただきました。この大舞台での貴重な経験は、生徒諸君にとって大きな手応えと自信に繋がったと感じています。

最後に、ご来場いただきました学校関係者ならびに教職員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今シーズンを終えて

水泳部顧問 山田 琴絵

水泳部は9月に行われた愛知県新人体育大会に1、2年生のみの新チームで挑みました。インターハイを



終えてからこの大会のために強化をしてきたこともあり、ベストタイムを更新する選手、表彰台に上がる選手を多数出すことが出来ました。しかし男子総合4位と女子総合7位と県内の強豪校の足元にも及ばないのが現状です。

来年こそ県大会上位入賞という目標を達成するために努力していきたいと考えております。今シーズンもたくさんの温かい声援ありがとうございました。皆様に応援していただける選手になるために日々精進していきます。今後ともよろしくお願い致します。

1年生の平泉がトライアスロンと自転車競技で活躍

水泳部顧問 渡邊 素幸

東邦高校にはトライアスロンの指導者として活躍中の卒業生がいます。「チームゴーヤー」の千葉智雄(1989年度卒)や「トライアスロンクラブ・アルファ」の浅沼美鈴(1999年度卒)の2人です。(2人とも高校在学中は、水泳部に所属してインターハイの自由形ファイナリストとして活躍しました)今春、「チームゴーヤー名古屋」所属の平泉真心(三好丘中学出身)が入学しまし



全国高等学校選手権女子優勝の平泉

た。3年前には水野泉之介(2016年度卒・愛知学院大学、現在オーストラリア留学中、高校在学中にジュニア日本代表として海外大会にも出場)が在学中トライアスリートとして活躍しました。

トライアスロンはスイム・バイ

ク・ランと3つの種目で競う大変過酷な競技です。平泉は早朝水泳部の練習に参加してスイムの練習を行い、授業後に所属コーチのもとでバイクやランの練習を行っています。平泉は体格には恵まれていませんが、自分自身をよく理解し、考えて行動することで競技力を向上してきました。また、家族の支えもあってけがや病気をすることなくシーズンを過ごすことができました。今シーズンの結果は次の通りです。日本を代表する選手に育ってくれることを願っています。

- 4月25日 宮崎・ASTCアジアU23ジュニア選手権日本代表選手選考会 ジュニアエリート12位
- 6月23日 愛知・第31回オレンジトライアスロン・県高校生選手権 スプリント優勝
- 7月7日 宮城・第21回日本U19選手権 優勝
- 8月25日 京都・第2回全国高等学校トライアスロン選手権 優勝
- 9月22日 大阪・NTT ASTCトライアスロンアジアカップ エリート12位
- 11月現在 J TUトライアスロンジュニアランキング第4位と活躍中です。

また、平泉は高校入学後から自転車競技(ロードレース)にも挑戦しています。本校には、自転車競技部がないため、クラス担任の協力を得て高体連自転車競技への団体登録を行いました。平泉の他に2年の吉松良真(猪子石中学出身)も加入して、2人で5月の県大会(モリコロパーク)に出場しました。ロードレース競技で平泉が女子優勝、吉松が男子8位入賞しました。平泉は6月の東海大会(伊豆修善寺サイクルスポーツセンター)にも出場し女子3位で入賞しました。(インターハイは、ピスト競技ポイントで選出されるため不参加)。

10月の第15回全国ジュニア自転車競技大会(三重県四日市市)には1年川畑翔英(守山中学出身)も加入し、3人が参加しました。女子ジュニア+アンダー17に参加した平泉が8位入賞、男子アンダー17に参加した川畑が64位完走。男子ジュニアに参加した吉松は、惜しくも周回遅れで失格という結果でした。また、11月の県新人大会では、平泉が女子優勝、吉松が男子5位、川畑が男子12位と健闘しました。選手各自の自主練習を積み重ねて素晴らしい結果が得られたことを報告します。応援していただいた皆様や、引率していただいた先生方に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



井出勝(1986年度卒)I.D.E.STOREデザインのバイクジャージ

2020年度の東邦高校

国際探究コースがスタート

広報企画室長 平上 純一

2020年度から「普通科国際探究コース」がスタートします。これに先立ち説明会が8月30日、名駅の名進研ホールにて行われました。メインゲストとして名古屋大学副総長である佐宗章弘先生をお招きし、ご講演いただきました。タイトルは「世界の仲間とともに歩む道」です。

航空宇宙工学が専門の佐宗先生は、研究者の道を進むにあたって世界の方々と自由に意思疎通する必要性を痛感し、大学院時代、英会話の習得に取り組まれました。

「今の時代、否が応でも英語で外国の方々とコミュニケーションをしなければならぬ」と高校生時代



に英会話を学ぶ意義を強調され、国際探究コースの学習目的である「多様な課題を仲間とともに解決する」に関連した、世界の大学で実際に行われている最先端授業についてお話してくださいました。

佐宗先生は講演の最後に、世界中に友達を作り自分の世界を広げる楽しさと、そのために高校生のうちから英語を学ぶ意義を再度熱く語られました。「今から始めれば、もっともっとすごい世界が待っている」と佐宗先生はほほ笑まれ、会場は拍手に包まれました。

続いて東邦高校のネイティブの英語科教諭、スティーブン・アレン、クリストファー・ディステファン両先生による、海外姉妹校交流、夏休み短期留学、様々な国際交流フォーラムへの参加など、今年度まで継続的に行われていた国際交流の具体的な説明がオールイングリッシュで行われ、そこに関わった生徒、卒業生が次々に登壇し、経験談を披露してくれました。

ニュージーランドへ1年間留学した高橋昂暉さんは、「次は自分が日本の文化を発信する番だ」と外務省の対日理解促進プログラムに参加し、カナダに派遣されました。同じ対日理解促進プログラムに参加した加藤雅音さんは「得たものは目標を達成する力」と語ってくれました。彼女はその経験を活かし、2019年秋に国際基督教大学に現役で合格しています。

2019年3月の卒業生で、南山大学国際教養学部に通う西尾奈菜さんは、アジア太平洋青少年交流の場で、海外の学生の高いレベルと諦めない心の大切さを知り、「国際交流には辛い経験をしてでも参加する価値がある。好きなことを極めるのが自分の強みになる」と話してくれました。

最後に国際交流室長の伊藤保憲先生が、国際探究コースが行う模擬国連、論理的思考の鍛錬など多角的な取り組みを紹介。「国際探究コースは、ただ英語を話せるようになるだけではなく、世界をより良くするため何ができるかを考える場である」と中学生とその保護者の皆様に熱く語りかけました。説明会は盛況のうちに終了しましたが、終了後も、たくさんの中学生とその保護者の方々が個別に詳しく説明を聞きたいと会場に残ってくださいました。

普通科普通コースの名称を変更

教頭 渡邊 素幸

高校では2017年4月、当時の佐々木泰裕校長より「普通コースの体制は今のままで良いのか？」との問題提起があり、「学科コース体制検討委員会」が召集され検討を重ねてきました。翌年の2018年3月には、高等学校学習指導要領の全部を改正する告示が公示され、2022年4月から施行となっています。

そのことも念頭に置き単位数や授業時間数の変更などを答申し、職員会議や学年会議など議論を重ねた結果、普通コースは名称変更のみ行うこととなりました。(①コース名称だけで目標が理解できること②選抜コースとし、成績上位者の希望を優先できること)

学力向上プロジェクトとして慣れ親しんだアクティブコース・チャレンジコース・サイエンスコースですが、中学生やその保護者にわかりやすい名称に2020年度入学生より変更していきます。今後は新学習指導要領に向けての検討も必要です。東邦教育がますます発展していく第1歩だと位置付けています。

1年次	2・3年次
普通コース	アクティブコース→進学コース チャレンジコース→文系選抜コース サイエンスコース→理系選抜コース

新入生全員にiPad

東邦高校では、これまでの教育をさらに進化させ、ICTを活用した高品質指導へと生まれ変わります。ICT学習を生かすために学習デバイスとしてのタブレットが不可欠となる時代がやってくる中で、生徒一人1台のiPadを用意して、2020年度から生徒一人ひとりに最先端の教育を実践します。



大学／行事・クラブ活動

年間行事
（2019年度）

1月 後期講義終了、後期末試験

後期末試験、就職合宿、

2月 卒業研究発表会、
春期休暇(2/8～3/31)

3月 卒業証書授与式、学内企業展

「読谷村プロジェクト」で発揮された 学生たちのプレゼン能力

経営学部教授 手嶋 慎介

今年度、経営学部として力を入れているプロジェクト科目の一つとして、本学が連携協定を結ぶ「沖縄県中頭郡読谷村」をテーマとする「つながる・ひろがる読谷村プロジェクト」がスタートしました。

前期には、学生中心の地域創造研究所定例研究会を開催。学内外に対して「読谷村×愛知東邦大学」のつながり(絆)を強め、一層のひろがりを目指しとする活動を実践するなかで、次第に「つながる！ひろげる！」という主体的な姿勢が、学生たちに見られるようになってきました。

夏期の読谷村訪問では、地域企業調査、読谷村役場での意見交換などを行いました。さらに、予定外の「F Mよみたん」出演という広報機会を得て、学生たちは授業で鍛えたプレゼンテーション能力を大いに発揮してくれました。

後期は、本学の「職業実践力育成プログラム(BP)」を受講する社会人チームとの絶妙なコラボにより、スイートポテトの模擬店、読谷村の(株)御菓子御殿の協力による「元祖紅いもタルト」の販売、首里城再建のために売り上げの一部寄付と募金活動を行いました。

以上の諸活動は、一教員の授業科目として閉ざさず、関係者とつながり、連携をひろげていくことで成功裏



に終わることができました。人との絆が生み出す「日本一人口の多い村・読谷村」の魅力から多くを学ぶプロジェクトとなっています。

「海外卒業旅行コンテスト」で留学生が 堂々の準グランプリ

経営学部准教授 宮本 佳範

経営学部地域ビジネス学科の宮本ゼミでは、毎年、日本旅行業協会(JATA)が主催する「海外卒業旅行企画コンテスト」にチャレンジしてきました。地域ビジネス学科には観光・サービスコースがあり、観光に関する講義が開講されています。ただし、講義の内容は、

ただ覚えるだけではなく、自分なりに解釈し、応用しようとしてはじめて生かされるものです。同コン



テストへのチャレンジは、そういった機会を学生に提供する目的で行ってきました。

「海外卒業旅行企画コンテスト」は全国規模のコンテストで、勝ち残るのは至難の業です。しかし、今年度はベトナム人留学生チーム「青春」(チャンさん・ハウさん)が、応募総数335件の中から1次、2次審査を通過し、上位6チームによる最終審査に残りました。そして、大阪で開催された「ツーリズムEXPOジャパン2019」のステージで行われた最終審査で、なんと、グランプリに次ぐ優秀賞に輝くことができました。

全国規模のコンテストで入賞したことは、本人たちにとってオンリーワンの経験になったことでしょう。しかしそれ以上に、教員としては、次年度以降のゼミの後輩たちが「自分たちもやればできる!」と本気で取り組むきっかけになることを期待しています。ゼミでは今後も同コンテストに積極的に取り組んでいきたいと考えています。

「グランパス・ビジネスコンテスト in 愛知東邦大学」の成果と課題

地域連携センター長 船木 恵一(経営学部長)

名古屋グランパスとの教育連携が開始されて6年目



の今年は、一般の学生にどのようにしてグランパスに興味を持たせるかが課題でした。そこで考案されたのがビジネスコンテストです。本学の全学生を対象にアイデアを募り、書類審査と2次審査で絞り込み、選ばれた数チームが決勝戦にてプレゼンテーションで競い合うというものです。

結果は、32チーム(86人)がエントリーし、決勝戦は6チームで戦いました。グランプリは経営学部の3年

生のチーム“ミント”が獲得し、見事協賛スポンサーのエアアジアジャパンからの副賞、台北往復航空券をゲットしました。

決勝戦当日は、中京テレビの取材も入り、ユニークな取組としてニュースで紹介されました。このように大盛況かつ大成功で終了したイベントでしたが、そもその狙いは、サッカーではない切り口でグランパスに興味を持つ学生を増やすこと、本学の学生に独自の自己啓発の機会を提供すること、そして大学祭を盛り立てることでした。

自画自賛になりますが、いわば一石二鳥どころか三鳥を狙い、見事に達成といったところです。さてこれを一過性に終わらせないだけでなく、どう発展させるかが次のチャレンジです。参加スポンサー、参加大学を拡大しつつの決勝は愛知東邦大学の大学祭で実現できるか、次年度も乞うご期待！

元学長の山極、成田氏、元経営学部長の小野氏が名誉教授に

愛知東邦大学教授として2019年3月に退職した3氏に対する名誉教授称号記授与式が7月18日、学内で行われました。新たに名誉教授となったのは、経営学部地域ビジネス学科教授として退職した山極完治氏、成田良一氏、小野隆生氏。山極氏と成田氏はそれぞれ学長を、小野氏は経営学部長も務めました。愛知東邦大学の名誉教授は東邦学園短期大学時代の7人を含め13人となりました。



名東文化小劇場で教育学部1年生が小学生たちとワークショップ

愛知東邦大学と「メセナパートナーズ」を締結している名東文化小劇場で8月9日、夏休み恒例の「あつまれKIDSたいけんDAY」が開かれ、教育学部1年生のサービス・ラーニング実習生12人が名東区内の小学生たち延べ152人と交流しました。



サンカルロス大学での語学研修に学生10人参加

3回目となるフィリピン・サンカルロス大学での語学研修が9月8日から実施されました。参加したのは経営学部の地域ビジネス学科1人、国際ビジネス学科3人、人間健康学部5人、教育学部1人の計10人。谷村祐子准教授と国際ビジネス学科のJoseph Ring(ジョセフ・リング)講師が引率。2週間の研修プログラムを終え9月21日午後、中部国際空港に帰ってきました。



例年より半年早く9月から「就職合宿」

3年生を対象に例年した就職合宿が早くも9月5日にスタートしました。企業側の採用活動が早まっていること、卒業生たちへのアンケートで「もっと早く実施してほしい」という声が寄せられたため、2019年度は半年早めでの実施になりました。

就職合宿は名古屋クラウンホテルで9月5～6日、同10～11日の2回、1泊2日の日程で開催。5日から始まった合宿には、経営学部を中心に人間健康学部、教育学部の一般企業希望者約20人が参加しました。



「笑い〜集結祭人〜」テーマに 第55回大学祭を開催

大学祭実行委員会広報・渉外部署代表
山下 千尋(人間健康学部2年生)

第55回愛知東邦大学大学祭(和丘祭)を11月9、10日の2日間、開催しました。今年のテーマは、「笑い〜集結祭人〜」。参加側である来場者の皆様、運営側である私たちを含め全ての人が楽しめ、笑顔になるような大学祭を目指しました。



平成から元号が変わり、令和初となる大学祭で、昨年以上に模擬店や室内企画、大学内の装飾、ステージ企画など様々なコンテンツに力を注ぎました。おかげ様で、2日間で2200人以上の方々にご来場いただき、



活気に満ちた大学祭となりました。

来年もたくさんの方々にご来場していただけるような大学祭になるよう実行委員一同尽力致します。

東海第1代表逃すも6年連続でインカレ出場 女子サッカー部

女子サッカー部は第28回全日本大学女子サッカー選手権大会(2019年インカレ)の東海地区予選で準優勝し、6年連続7回目のインカレ出場を果たしました。優勝した静岡産業大学とは11月16日、ともに4勝0敗同士で直接対決。1-1同点PK戦7-8



での惜敗で、今年も東海第1代表常連の静岡産業大にもう一步及びませんでした。

10月に名古屋市で開催された皇后杯JFA第41回全日本女子サッカー選手権大会東海大会では2回戦から登場。常葉橘高校に1-2で敗れ、皇后杯大会への2年ぶり2度目の出場はなりませんでした。

秋季リーグは2位に終わる 硬式野球部

愛知大学野球秋季2部Bリーグ戦で愛知東邦大学は6勝4敗、単独2位でシーズンを終えました。1部リーグ昇格をめざしてリーグ戦に臨んだものの、投手陣が安定せずスタートダッシュで波に乗



れず、後半に追い上げるも及びませんでした。新チームで挑む2020年春季リーグでの飛躍が期待されます。

浅田さんが全国舞台で躍動 トライアスロン部

人間健康学部2年生の浅田亜実さん(トライアスロン部)は2019年も全国舞台で躍動しました。4月に沖縄で開かれた「美ら島チャレンジとよさき」大会女子の部での優勝に続き、9月には香川県で開催された日本学生トライアスロン選手権(インカレ)観音寺大会で女子総合7位と健闘。「第74回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体」にも出場するなど全国各地で開催された大会に出場。10月には東京で開かれた2019年日本王者を決める第25回日本トライアスロン選手権に出場しました。



1部昇格に1歩及ばず 男子サッカー部

監督 伊藤 数馬(教育学部准教授)

日頃より男子サッカー部の活動にご支援いただきありがとうございます。我々は「東海学生サッカーリーグ1部昇格」を目標に活動しておりますが、2019年度は残念ながら4位という結果に終わり、1部に昇格するための2位以上になることができず、目標を達成することができませんでした。

3月に開催された愛知県学生サッカー選手権(天皇杯愛知県大学予選)において、全国大会常連である愛知学院大学に勝利し3位入賞を果たしましたが、リーグ前半戦についてはチームの歯車がなかなか噛み合わず4位での折り返しとなってしまいました。

リーグ中断期間中は夏場の厳しい環境下でしたが、藤川久孝総監督の指導のもと、選手が高い意識でトレーニングすることができ、後半戦は引き分け1つを含む8戦負けなしといった快進撃で、上位との直接対決の結果次第では逆転で昇格できる位置まで勝ち点を積み上げました。しかし上位との直接対決で連敗してしまい、最終的には4位となりました。

今期は2部アシスト王のタイトルを獲得した主将鶴飼真斗(人間健康学部3年)を中心としたスピードのあるサイド攻撃がチームの特徴でした。



この鶴飼を筆頭に、1年次より主力として活躍している2年生の成長や実力実績共に十分な1年生が更にチームに活力を与えてくれており、次年度は大いに1部昇格が期待できていると思っています。

まだまだあらゆる面で未熟なチームではありますが、今後とも変わらぬご支援の程宜しくお願い致します。

2月28日に小室氏講演と名刺交換会

フレンズ・TOHO事務局

例年愛知東邦大学LCホールを拝借して2月～3月の時期に開催している企業会員様向け講演会&名刺交換会ですが、本年度は「名古屋ガーデンパレス」にてワーク・ライフバランス社長の小室淑恵氏を招いての講演会と名刺交換会とさせていただきます。今回は、「愛知中小企業家同友会」の後援をいただき学び・交流いたします。



小室 淑恵氏

開催日時：2月28日金曜日

13:00～ 小室淑恵氏講演会

「『残業ゼロ』の仕事術」

15:00～ 名刺交換会

場 所：名古屋ガーデンパレス

名古屋市中区錦3-11-13

同窓会広報誌「東邦の和」55号を発刊 第91回選抜高校野球大会優勝記事の特集

東邦会事務局

同窓会東邦会(東邦商業学校・東邦中学校・東邦高等学校の卒業生にて組織)では、毎年10月に同窓会報「東邦の和」を発刊し、全ての同窓生および在校生や学園関係者にお配りしています。

高校の同窓会組織として作成されている会報誌としては、圧倒的な情報量を誇ります。今回55号の表紙には第91回選抜高校野球大会優勝時の写真を採用。そして、フルカラー30ページで構成されています。

特集記事としては、表紙の平成最後の選抜高校野球大会の様子を掲載し、硬式野球部の快挙を紹介しました。さらに、社会で活躍する同窓生たちでは、

野球解説者、深海海洋調査をされている方、美術大学教員、ソムリエなど様々なジャンルの方々が登場します。新企画「親子で東邦」では父子、母子で東邦高校に通っている3組をご紹介します。在校生が活躍している様子、各学年の同窓会やクラブOB会の記事もたくさん掲載しております。

今後とも事務局では、学園関係者の皆様からの幅広い情報提供をお待ちしております。



大学開学20周年記念行事に協力を

邦友会事務局

2021年に大学開学20周年を迎えます。また、東邦学園創立100周年を2023年にひかえていますので、お祝い行事が続きます。これら諸行事に、同窓会として協力していきたいと考えています。行事の一端にホームカミングデイも予定されているようで、楽しみにしています。

学園HPの「語り継ぐ東邦学園史」で短大時代が紹介されています。それに伴い短大のそれぞれの時代の行事を体験した人や関わった元教員などの方々

に、話を聞くためのアポイントメントを取ることがありました。その方々の多くは同窓会で記念誌などを制作したときにお世話になった方や、現職時にお世話になった先生方です。中には短大時代の私の友人も含まれており、皆さん久しく会ってなかった方々でした。担当の方が記事にするために事細かく話を聞いてくださったおかげで、協力いただいた皆さんには、自分の学生時代を思い出せたことや会う機会を持てたことなどに感謝の言葉をいただきました。

今度行われるホームカミングデイが、卒業生皆さんにとって友らと語り合える場になることを願っています。

高校就学支援金、大学修学支援金の制度が充実します

消費税増税分を財源として、2020 年 4 月から高校生や大学生への国の支援金制度が現状よりかなり充実されます。この制度が適用される年収の目安として、文部科学省は高校生が 910 万円以下の世帯、大学生が 380 万円以下の世帯と示しています。

ただし、世帯の扶養人数や家族構成などにより異なりますので注意が必要です。さらに対象となった場合には、家計所得などにより、様々なランクの支援額が適用されます。いずれもこ

れらの制度を活用するためには、各家庭からの申請が必要になります。なお、大学の支援金制度（予約を含む）には、学業成績や学修意欲なども支援対象基準になります。高校、大学からの情報発信にくれぐれも留意ください。

詳しくは「高校就学支援金」「大学修学支援金」のキーワードで文部科学省のホームページをご覧ください。

東邦高校美術科が小学生向けに、「秘密基地」も作るワークショップ

東邦高美術科では 3 月、第 3 回となる小学生向けワークショップを開催します。このワークショップは「美術や工作が大好きなお子様を増やしたい」という願いのもと実施しております。今年のテーマは「段ボールで自分の秘密基地やお家をつくる」。お子様をはじめ保護者の皆様も楽しんでいただける企画にしたいと考えております。皆様の参加をお待ちしています。

- 日 時** 3 月 14 日（土）9:00 ～ 11:00
※受付 8:30 ～
- 場 所** 東邦高校特別棟 4 階素描室
（名古屋市名東区平和が丘三丁目 11）
- 対 象** 小学校 1～6 年生
- 服 装** 汚れても良い服装でお越しください。
- 持ち物** 水筒・はさみ・制作で使いたい材料や資料等（ある人のみ）
- 定 員** 40 人 定員数になり次第締め切ります。
※保護者の方や付き添いの方も是非ご参加ください。
※事前申し込みが必要です。
- 工 程** ①受付 8:30 ～ ②制作 9:00 ～ 10:30
③片付け 10:30 ～ 10:45 ④内覧会&撮影会 10:45 ～ 11:00 ⑤解散 11:00
- 申し込み先と問い合わせ先**
toho.art.design@gmail.com（担当：美術科 水野）